

使用料の計算例と激変緩和措置について

たとえば・・・

ア	施設の維持管理に要する経費	600万円
イ	年間開館時間	4,000時間
ウ	貸し出し面積	200㎡
エ	利用時間区分	4時間
オ	受益者負担割合	75%
カ	消費税	8%

$$\begin{aligned}
 & \text{一室あたりの使用料} = \frac{\text{1室当たりの原価}}{\text{1㎡当たりの時間原価}} \times \text{ウ} \times \text{エ} \times \text{オ} \times \text{カ} \\
 & = \frac{(600 \text{ 万円} \div 4,000 \text{ 時間} \div 200 \text{ ㎡}) \times 200 \text{ ㎡} \times 4 \text{ 時間} \times 75\% \times 1.08}{\text{ア}} \\
 & = 4,860 \text{ 円 (計算上の使用料)}
 \end{aligned}$$

現行の使用料が 2,100円 (2,000円に消費税5%転嫁) であるとして、
 平成26年4月～ 2,700円 (2,000円の1.25倍 2,500円に消費税8%転嫁)
 平成28年4月～ 3,240円 (2,000円の1.5倍 3,000円に消費税8%転嫁)

